

KAHO GALLERY

It is only with the heart that one can see rightly;
what is essential is invisible to the eye.

プレスリリース
2015年8月吉日

報道関係者 各位

「小野竹喬 素描展」開催のお知らせ

このたびカホ・ギャラリーでは、「小野竹喬 素描展」を開催いたします。

明治22年、岡山県笠岡市に生まれた竹喬は、14歳の時に京都に出て竹内栖鳳の門に入ります。明治44年に京都市立絵画専門学校を卒業、大正7年には日本画の新しい表現を模索するため土田麦僊、村上華岳らと国画創作協会を結成します。大正10年渡欧、約1年のヨーロッパ旅行で、竹喬はそれまで求めていた西洋的写実から、東洋絵画における線の表現を再認識することになりました。昭和3年の国画創作協会解散後は帝展に復帰、以降、文展、日展を活躍の舞台としました。昭和14年頃より、竹喬はそれまでの線描と淡彩による南画風の表現から、色面による対象の把握と日本画の素材の良さを素直に活かした大和絵的表現へと変わっていきました。この変化は、その後の竹喬作品の方向性を決定づけ、竹喬作品の特徴である、おおらかで単純な形と温雅な色彩による表現を深め、独自の世界観を確立して行きました。

「絵には詩情とリズムがなければならない。」

竹喬が常に自己の画道精進の上で、心に留めていた言葉です。今回展示する素描作品はどれも、色彩は淡く美しく、描線は優しくしなやかです。画室から眺める庭の木々や空や雲など、身近な自然の風景を題材にして描かれた竹喬の作品からは、日本的美意識と絵画的抒情が感じられます。枝ぶりの美しい落葉樹やその向こうに見える茜空、流れ行く雲、誰もが気に留めず通り過ぎていく自然が見せる一瞬の美しさを、竹喬は見逃すことなく捉え、作品に昇華していきました。今回の展覧会では、竹喬の生き生きとした色彩と線で描かれた素描作品12点を展示いたします。この機会に是非ともご紹介ください。

【開催概要】

名称： 小野竹喬 素描展
会期： 2015年9月12日(土) ～ 9月23日(水) 会期中無休
時間： 12:00 – 18:00
会場： カホ・ギャラリー
住所： 605-0981 京都市東山区本町15丁目778-1



茜雲
17.3 x 14.2cm



樹と雲
18.1 x 22.1cm

【本展に関するお問合せ先】

■カホ・ギャラリー
〒605-0981 京都市東山区本町15-778-1
電話： 075.708.2670
e-mail： kahogallery@gmail.com
website： www.kahogallery.com